

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

2017 AUTOBACS SUPER GT Report

SUGO GT 300km RACE

第4戦 スポーツランド SUGO

ZENT CERUMO LC500

#38 立川祐路／石浦宏明

◆7月22日(土) QUALIFY

公式予選総合結果 12位(1分12秒365)

〈公式予選〉天候：曇り コース状況：ドライ

第2戦富士での優勝の後、第3戦オートポリスを10位で終え、貴重な1ポイントを加え2017年シーズン序盤の3戦を終えたLEXUS TEAM ZENT CERUMO。その後2017年シリーズは2ヶ月間のインターバルを迎えたが、チームは6月に3回のテストをこなし、第4戦の舞台である宮城県のスポートランド SUGO に乗り込んだ。



現在シリーズランキング3位につける立川祐路／石浦宏明組のZENT CERUMO LC500だが、SUPER GT特有のウエイトハンデが現在60kgとなっている。今季は50kgのハンデを超えた車両は車載ウエイトとともに、燃料流量リストラクターが制限されることになっており、前戦オートポリスでもその制限が効いてしまい、本来のZENT CERUMO LC500の速さを思うように発揮することができなかった。

チームは3回のテストで、制限を受けながらも速さを発揮する方法を探って



LEXUS TEAM ZENT CERUMO

きたが、やはりハンデが効いている。ただそれはランキング上位のライバルたちも同様で、このスポーツランド SUGO での第4戦も、現在の条件のなかでベストな順位で終わることが LEXUS TEAM ZENT CERUMO にとっては最大の目標だ。



迎えた7月22日（土）の SUGO は、前日まで出ていた雨の天気予報とはまったく真逆の晴天模様。しかも朝から非常に蒸し暑く、チームスタッフたちは大粒の汗をかきながら準備を整え、午前9時05分からの公式練習に臨んだ。

ドライコンディションのなか、ZENT CERUMO LC500 は開始からしばらくしてから、立川がステアリングを握りコースイン。途中赤旗中断などもあった公式練習だったが、立川と石浦は交代しつつ ZENT CERUMO LC500 を調整していく。最終的に立川、石浦ともに17周ずつをこなし、石浦がマークした1分13秒099が ZENT CERUMO LC500 のベストとなった。ただ、上位とはやはり差があることから、チームはさらなるステップアップに向け予選へ調整していった。

午前はどうも暑さだったスポーツランド SUGO だが、ちょうどお昼どきを過ぎたあたりから、急速に雲が増えはじめた。天気予報を見ると、非常に強い雨をとともなう雨雲が周囲にわき出ていた。そして、GT300クラスの公式予選がスタートする午後2時10分を前にして、ポツポツと雨が降り始める。



ただ、幸いにして強い雨は降らず、GT500クラスのQ1を迎えるころにな

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

ると雨はほぼ止んだ。雨が強くなるならすぐにコースインしたいところだが、他の GT500 クラスのチームと同様、LEXUS TEAM ZENT CERUMO も午後 2 時 36 分の Q1 開始からしばらくはピットに留まった。

Q1 のアタッカーを務めたのは石浦。ライバルたちとともに、Q1 の残り 8 分を切ったあたりでコースインすると、念入りにタイヤを温め、まずは 3 周目に 1 分 13 秒 539 というタイムをマーク。さらに翌周には、目前で#46 GT-R のコースアウトなどもありながら、1 分 12 秒 365 というタイムを刻んだ。



公式練習よりも ZENT CERUMO LC500 はいい手ごたえになってはいたものの、石浦のタイムに対してライバルたちはどんなタイムを出してくるのか……!? チームはモニターを見つめたが、やはりライバルたちが速い。予選 Q2 まではわずかなタイム差ではあったものの、12 番手で

予選を終えることになってしまった。

とは言え、このスポーツランド SUGO でのレースは例年荒れる展開が多い。また、決勝日は雨の予報も出ており、どんなレース展開になるかは予想もつかない。目標のチャンピオンのためにも、12 番手から上位を目指していく。

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

ドライバー／立川祐路

「3回のテストを経て作ってきたクルマで今回のSUGOに臨んでいます。ウエイトハンデ等の状況を考えると、まずまずのクルマにはなっていたと思います。ただ、ライバルメーカーも速くなっていますし、ハンデが効いていて、ペースは苦しいものになっていました。予選も厳しくはなるだろうとは思っていましたが、そうなってしまいましたね。レースは天候も今のところ分かりませんが、どんな状況でもうまく上位に食い込むことができればと思います。大変だとは思いますが、全力を尽くしたいですね」



ドライバー／石浦宏明

「このラウンドまでの3回のテストで得られたものを踏まえてクルマを作り臨んだのですが、公式練習では少しバランスが悪く、どう修正しようかを考えながら、予選までにエンジニアと相談していました。途中雨も降ったりしたので悩みましたが、クルマのレベルは上がっていたと思います。ただ、午前から抱えていたオーバーステア症状があったことと、またアタック中に目前でライバルがコースアウトしていたこともあり、少しタイムロスもあったかもしれません。とは言え、近いウエイトハンデのライバルも同じような順位にいますし、Q1突破のためには難しい予選でした。決勝は天候がどうなるか分かりませんが、ここからあきらめずに、上位を目指してしっかり頑張りたいと思います」



浜島裕英監督

「順位としては残念な結果です。ウエイトハンデとしては同じ#6 LC500の後塵を拝したのは悔しいですね。でも明日は明日ですから、チームみんなで一丸となってやっていきたいです。天候もどうなるか分かりませんし、



LEXUS TEAM ZENT CERUMO

我々のベテランドライバー、ベテランエンジニア、そして優秀なメカニックが
きっとやってくれると信じています」



LEXUS TEAM ZENT CERUMO

公式予選結果表

Rank	Car No.	CarName	Q1 Time	Q2 Time
1	8	ARTA NSX-GT	1'11.579	1'10.915
2	100	RAYBRIG NSX-GT	1'11.869	1'11.469
3	17	KEIHIN NSX-GT	1'11.761	1'11.491
4	19	WedsSport ADVAN LC500	1'11.597	1'11.669
5	16	MOTUL MUGEN NSX-GT	1'11.699	1'11.739
6	24	フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R	1'12.136	1'11.745
7	1	DENSO KOBELCO SARD LC500	1'12.024	1'11.803
8	6	WAKO'S 4CR LC500	1'12.163	1'12.163
9	12	カルソニック IMPUL GT-R	1'12.201	
10	64	Epson NSX-GT	1'12.269	
11	37	KeePer TOM'S LC500	1'12.306	
12	38	ZENT CERUMO LC500	1'12.365	
13	36	au TOM'S LC500	1'12.430	
14	23	MOTUL AUTECH GT-R	1'12.436	
15	46	S Road CRAFTSPORTS GT-R	1'12.595	